



平成29年度 事業報告書

特定非営利活動法人NPOくまがや

1 事業の成果

2004年に熊谷市を中心に県北エリアのまちづくりの実践と、それにかかわる団体・人材のネットワーク形成を目的として設立され活動してきたNPOくまがや。2015年から活動の転換期となり、昨年2017年に熊谷市市民活動支援センターの指定管理運営を開始したことを契機として、役員やスタッフに新しいメンバーも加わり、新しい局面を迎えました。2017年度総会で以下のように活動の項目を整理し、まちづくりや人材育成の事業を実施しました。その活動ごとに報告をします。

2 事業の実施に関する事項（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
(1) 市民活動に関する情報発信、調査研究	SNSなどを活用し市民活動やまちの情報を広く発信する	平成29年4月～平成30年3月	主に熊谷市内	5人	主に熊谷市内 50人	40
(2) 市民活動の拠点づくり、運営事業	熊谷市市民活動支援センターの指定管理運営	平成29年4月～平成30年3月	熊谷市内、コミュニティスペース	10人	主に熊谷市内 2,000人	11,530
(3) まちづくりの実践、運営、起業支援、担い手育成事業	市民活動にかかわる人材の育成や、環境・福祉など各分野で活動する団体との協働のまちづくり実践	平成29年8月～平成30年3月	主に熊谷市内、県北地域	10人	主に熊谷市内、県北地域 100人	379
(4) ネットワーキング、社会活動に対する協働や提言	協働事業実施に関する相談や、事業運営の補助など	平成29年8月～平成30年3月	主に熊谷市内	4人	主に熊谷市内、県北地域 50人	0

(1) 市民活動に関する情報発信、調査研究

1-1. 共助ニュース発行

【概要】

28年度「熊谷の力」で市民活動推進課と協働した「共助ニュース」は、29年度にFacebook ページで年度中7回投稿しました。NPO主催事業の「熊谷の力 移動健康カフェ」「谷津田ベンチャー」の広報以外にも、起ち上がりつつある高校生イベントのシェア、広報がばらばらになる秋のスポーツ文化公園3イベントのまとめWebチラシを投稿。印刷物としても、「移動健康カフェ」チラシを「共助ニュース」として発行しブランド力をアップさせています。

【成果、今後に向けて】

小さい発信の積み重ねで「もんだい提起型コンテンツ」としてのブランド力は向上しています。

また、28年度の市民協働「熊谷の力」をもとに、スタートしたばかりの「FMクマガヤ」、創刊2年を過ぎ市民メディアとして定着したピーアイピーの「NAOZANE」にコンテンツ提供する発展事業を市民活動推進課に打診。市の予算化に向けた事業案づくりに着手したところです。

(主担当：小林真)



1-2. 熊谷経済新聞協働事業

【概要】

熊谷や近隣エリアのまちの情報をフェイスブックで紹介する「熊谷経済新聞（運営：株式会社うえぶ屋）」へ、市民活動支援センター等でおこなわれる市民活動のイベントなど情報提供・協力を行う事業。市民活動団体が自前で行う発信では届かないような層に広く届け、「多くの方に知ってもらおう」ことを目的としています。

【成果、今後に向けて】

15本程度、市民活動支援センターや熊谷市近隣で開催される市民活動のイベントについて情報提供できたが、コンスタントに発信・協力をするのができなかった。市

民活動やまちの情報にアンテナをはっていくとともに、情報が集まるような仕掛けづくりをしていきたい。

(担当：小林、栗原、生越)



(2) 市民活動の拠点づくり、運営事業

2-1. キューノ活用

【概要】

まちづくりのキーパーソンを招いての座談会や、映画鑑賞、地域情報発信などさまざまな活動がおこなわれ、地域人材が集う場として定着している、コミュニティサロン キューノ（宇野理事運営）。場としての機能を活かし、NPOくまがやとしての活用を図ります。

【成果、今後に向けて】

2018年度より、NPOくまがやの所在地として活用を提案（第4号議案）。場の活用とともに、地域情報などの資源をつなげることも目的としています。

(担当：小林、栗原、宇野)

2-2 熊谷市市民活動支援センター運営

【概要】

熊谷市の市民活動の拠点となる「熊谷市市民活動支援センター」を2018年度より指定管理者として5年間の運営。10名のスタッフがかわり、無事に1年目を運営することができました。

【成果、今後に向けて】

より使いやすいセンターづくりを目的におこなったレイアウト変更は好評で、全体的に来館者数を増やすことができました。また、用紙やニャオざねグッズの販売などにも新たに取り組むことができました。若い世代の利用や夜の時間帯の利用者増など、当初かかげた目標にとどかなかったものあり、センター自体の広報も含めて、今後の運営の重点課題として取り組みます。

2-3.市民活動支援施設等の協働運営

【概要】

熊谷市の市民活動支援センターの指定管理運営がはじまったことをきっかけとし、その経験やネットワークを活かして市内の同様の施設、または近隣市町村の市民活動支援施設を地元の団体等と協力して運営にあたることを目的とした事業。

【成果、今後に向けて】

市内、近隣市町村の情報を集めるにとどまり、具体的な動きはできませんでした。引き続き他施設の情報収集や事例の検討をしていきます。

(3) まちづくりの実践、運営、起業支援、担い手育成事業

3-1.介護者サロン熊谷ほっとたいむ運営

【概要】

介護者の悩みを傾聴する「介護者サロン 熊谷ほっとたいむ」を隔月に1回、緑化センターで開催しています。同じように、介護で疲れたり、悩んだり、不安を抱えている方々にお集まりいただき、介護者同士の情報交換やメンバーが参加者と話をします。

【成果、今後に向けて】

メンバーは、現在介護をしている方、以前に介護の経験のある方、ケアマネージャー、看護師、地域活動されている方など多種多様です。参加者は毎回、10名前後の方々に来ていただいています。



ご案内 介護者サロン

(熊谷ほっとたいむ)

不安や悩みを抱えてたり、がんばり過ぎてたりしていませんか。
介護者サロンへ来て、こーしお話しでもしませんか。
お待ちしております！

私たち「介護者サロン熊谷ほっとたいむ」では、介護をされている方々に、少しでも「ほっと」していただく時間を一緒に作っていききたいとの思いから、毎月恒例に「介護者サロン」を立ち上げました。
同じように、介護で疲れたり、悩んだり、不安を抱えている方々にお集まりいただき、介護者同士の情報交換や私達のメンバーを刺激していきましょう。
私たちのメンバーの中には、現在介護をしている方、以前に介護の経験のある方、ケアマネージャー、看護師、地域活動されている方など多種多様で何かお役に立てるかもしれません。
下記日曜で、介護者サロンを開催しますので、是非、お気軽にご参加ください。

記

参加費 不要 (個人情報は厳く守られます。匿名でも参加できます。)

と き 平成30年 5月12日(土)
午前10時から 午後3時まで
(例年にごやわがいないので、参加期間はお自由)

と ころ 緑化センター和室
熊谷市役所となりの中央公園内
※駐車場は、市役所駐車場を御利用ください。

主 催 「介護者サロン熊谷ほっとたいむ」
(事務局 NPOくまがや)

連絡先 NPOくまがや
神馬場校 090-2933-3061
山下政子 090-5991-4735

(担当：福田、神馬場、小林文)

3-2.まちづくりの担い手育成講座（共助コーディネーター養成講座）

【概要】

2016年度からの継続で、経験やスキルのある人材を育成する埼玉県補助事業。2017年度は県東部地域でまちづくりを実践しているNPO法人すぎとSOHOクラブ、地域情報発信の仲間づくりに取り組むNPO法人埼玉情報センターとともに、実行委員会を組織して事業申請し、NPOくまがやは県北地域での取り組みを担当しました。

【成果、今後に向けて】



「コーディネーター」といっても関心や得意な分野はさまざま漠然としているので、熊谷では地域課題のトピックスのひとつになっている「空き家活用」に着目し、その実践者をゲストに招いた交流会を市民活動支援センターで開催しました。空き家を活用して地域のたまり場など「場づくり」に関心がある方は多く、定員を上回る50名以上の参加があり、活発な意見交換をすることができました。空き家活用に関する情報交換の機会を継続する希望が多く、交流会実施後も座談会や見学会などを実施、2018年度以降も、良事例を紹介・共有する機会づくりに取り組みたいと考えています。

（担当：生越、小林）

3-3.市民活動団体の事務局支援（第三者評価制度説明会開催事業）

【概要】

市民活動団体運営の課題となっている、各種届出や事務作業等の「事務局機能」。どんな分野で活動する団体でも、会計や広報の効率化は共通の目標となっています。2017年度は非営利組織評価センターがすすめる、「第三者評価制度」を説明する事業を担当しました。第三者評価制度は、法人格を所有している団体が対象ですが、運営に信頼を得るために必要な最低限の項目ができていくかどうか、を客観的に見つめ直すことができる自己チェックの仕組みです。

【成果、今後に向けて】

熊谷、さいたまの2会場で制度説明会開催、計7つのNPO法人が参加し、そのうち1法人が第三者評価制度への申込みがありました。NPOくまがやでは未整備な項目も多く、早急に整えたうえで第三者評価を受け、今後も「NPOの信頼性向上」のために普及に努めます。



担当（生越、小林）

3.4.移動健康カフェ事業

【概要】

市民活動団体による「からだところの健康メニュー」を熊谷市内の民間業者施設で展開して、商業と地域の活性化をはかるマッチング事業。29年度市民協働「熊谷の力」として商工業振興かの協働で開催されました。

計画6店舗2回ずつ12回のところ、3店舗（妻沼・沢田本店、石原・ゆめみる本屋さん、小江川・co.8）4回の実施と未消化感あり。とはいえ本事業がきっかけでの発展も多く、モデルづくり事業として一定の成果はあげられました。

7月3日に「はじめの一步」と合同での成果報告会があります。

【成果、今後に向けて】

30年度以降は自主事業として、「健康」以外のテーマも視野に入れて市民活動団体と店舗をマッチングする「移動〇〇カフェ」として継続。中間支援のひとつに組み入れつつ、新展開を期待します。

なお、小江川カフェ参加の市内出身舞踏家が、30年4月の「谷津田田植え体験（3-5参照）」で「現代版 田楽」を上演するという意外な展開もありました。

担当（遠藤、安江、小林真）



3-5.谷津田ベンチャー事業

【概要】

熊谷市、滑川町など3市5町が協議会を設立し、比企丘陵の「ため池・棚田農法」を世界・日本農業遺産に2018年6月に登録申請しました。この動きを市民活動の側から応援しようと、ホテルヘリテイジ隣接の日向沼下の棚田での田植え、稲刈り体験教室を「熊谷環境基金」の時補助を受け実施しました。

スタートアップなので中間支援団体であるNPOくまがやが主催。一年の活動を通して新団体を設立予定と申請書に書きましたが、本団体理事である後藤教授の研究室に「立正大学谷津田イノベーション研究会」が発足するなど一年間で大きく発展しました。

なお、10月に予定だった稲刈り編は台風襲来で中止になっています。

【成果、今後に向けて】

30年度は農場管理の「小原営農」、「ヘリテイジファーム」の主催、「谷津田イノベーション研究会」「自然栽培パーティ」「NPOくまがや（チラシ制作・広報）」の協力で6月24日に「田植え編」を実施。秋には「稲刈り編」も予定されているほか、市内他環境系団体と連携して浄化のための「炭入れ」も計画されています。



担当（小林真）

活動計算書

[税込] (単位:円)

特定非営利活動法人NPOくまがや

自平成29年4月1日 至平成30年3月31日

【経常収益】

【受取会費】

正会員受取会費 30,000

【受取寄付金】

受取寄付金 280,485

【受取助成金等】

受取助成金 155,560

【事業収益】

自主事業収益 248,300

受託事業収益 11,611,196

事業収益(販売) 18,618 11,878,114

【その他収益】

受取利息 20

経常収益計

12,344,179

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

職員俸給(事業) 1,773,996

職員諸手当(事業) 240,000

非常勤職員給与(事業) 6,358,183

雑給(事業) 27,000

法定福利費(事業) 524,689

通勤費(事業) 469,898

福利厚生費(事業) 45,655

人件費計 9,439,421

(その他経費)

売上原価 13,768

業務委託費(事業) 301,196

諸謝金(事業) 40,000

会場費(事業) 12,000

印刷製本費(事業) 154,301

広告宣伝費(事業) 86,400

会議費(事業) 8,828

旅費交通費(事業) 6,800

通信運搬費(事業) 193,026

消耗品費(事業) 566,686

什器備品費(事業) 153,572

修繕費(事業) 1,080

水道光熱費(事業) 707,730

賃借料(事業) 233,904

保険料(事業) 5,000

租税公課(事業) 3,000

支払手数料(事業) 12,312

雑費(事業) 11,338

その他経費計 2,510,941

事業費計

11,950,362

活動計算書

[税込] (単位:円)

特定非営利活動法人NPOくまがや

自平成29年4月1日 至平成30年3月31日

【管理費】		
(人件費)		
人件費計	<u>0</u>	
(その他経費)		
通信運搬費	984	
租税 公課	<u>200</u>	
その他経費計	<u>1,184</u>	
管理費 計		<u>1,184</u>
経常費用 計		<u>11,951,546</u>
当期経常増減額		392,633
【経常外収益】		
経常外収益 計		0
【経常外費用】		
経常外費用 計		<u>0</u>
税引前当期正味財産増減額		392,633
法人税、住民税及び事業税		<u>97,300</u>
当期正味財産増減額		295,333
前期繰越正味財産額		<u>67,505</u>
次期繰越正味財産額		<u>362,838</u>

貸借対照表

特定非営利活動法人NPOくまがや
全事業所

[税込] (単位:円)
平成30年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現金 22,328

普通預金 880,700

現金・預金計 903,028

(売上債権)

未収金 248,746

売上債権計 248,746

(棚卸資産)

棚卸資産 7,546

棚卸資産計 7,546

(その他流動資産)

前払金 4,830

前払費用 49,103

その他流動資産計 53,933

流動資産合計 1,213,253

資産合計 1,213,253

《負債の部》

【流動負債】

未払金 690,531

預り金 62,584

未払法人税等 97,300

流動負債合計 850,415

負債合計 850,415

《正味財産の部》

前期繰越正味財産 67,505

当期正味財産増減額 295,333

正味財産合計 362,838

負債及び正味財産合計 1,213,253

財 産 目 録

特定非営利活動法人NPOくまがや
全事業所

[税込] (単位:円)
平成30年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金	22,328
NPOくまがや事業	(11,834)
市民活動支援センター	(10,494)
普通 預金	880,700
埼玉りそな事業	(219,202)
埼玉りそな支援センター	(661,498)
現金・預金 計	903,028

(売上債権)

未 収 金	248,746
売上債権 計	248,746

(棚卸資産)

棚卸 資産	7,546
棚卸資産 計	7,546

(その他流動資産)

前 払 金	4,830
前払 費用	49,103
その他流動資産 計	53,933

流動資産合計

1,213,253

資産合計

1,213,253

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金	690,531
預 り 金	62,584
源泉所得税	(4,584)
源泉住民税	(58,000)
未払法人税等	97,300

流動負債合計

850,415

負債合計

850,415

正味財産

362,838

財務諸表の注記

特定非営利活動法人NPOくまがや

平成30年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1). 棚卸資産の評価基準及び評価方法
先入先出法による原価法
- (2). 固定資産の減価償却の方法
当該年度に固定資産なし
- (3). 引当金の計上基準
当該年度に該当なし
- (4). 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
当該年度に該当なし
- (5). ボランティアによる役務の提供
当該年度に該当なし
- (6). 消費税等の会計処理
消費税は税込で会計処理を行っている。

【会計方針の変更】

該当なし

【事業収入及び事業費の内訳】

事業収入及び事業費の内訳はの明細は別紙1に出力する。

【施設の提供等の物的サービスの受入の内訳】

【税込】（単位：円）

内容	金額	算定方法

【活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳】

【税込】（単位：円）

内容	金額	算定方法

【使途等が制約された寄付等の内訳】

【税込】（単位：円）

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
合計	0			0	

【固定資産の増減内訳】

【税込】（単位：円）

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
合計	0					0

【借入金の増減内訳】

【税込】（単位：円）

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計	0			0

【役員及びその近親者との取引の内容】

該当なし

【その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項】

該当なし

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

特定非営利活動法人 NPOくまがや

(単位:円、税込)

勘定科目名称	全事業所	定款第5条(1)	定款第5条(2)	定款第5条(3)	管理運営部門
		市民活動に関する 情報発信、調査研究	市民活動の拠点づくり ・運営事業	まちづくりの実践、 運営・起業支援、 担い手育成事業	
《経常増減の部》					
【経常収益】					
【受取会費】					
正会員受取会費	30,000	0	0	0	30,000
【受取寄付金】					
受取寄付金	280,485	0	0	74,493	205,992
【受取助成金等】					
受取助成金	155,560	0	0	155,560	0
【事業収益】					
自主事業収益	248,300	45,000	0	203,300	0
受託事業収益	11,611,196	0	11,611,196	0	0
事業収益(販売)	18,618	0	18,618	0	0
事業収益計	11,878,114	45,000	11,629,814	203,300	0
【その他収益】					
受取利息	20	0	19	0	1
経常収益計	12,344,179	45,000	11,629,833	433,353	235,993
【経常費用】					
【事業費】					
(人件費)					
職員俸給(事業)	1,773,996	18,000	1,718,556	37,440	0
職員諸手当(事業)	240,000	0	240,000	0	0
非常勤職員給与(事業)	6,358,183	22,500	6,258,883	76,800	0
雑給(事業)	27,000	0	0	27,000	0
法定福利費(事業)	524,689	0	524,689	0	0
通勤費(事業)	469,898	0	469,898	0	0
福利厚生費(事業)	45,655	0	45,655	0	0
人件費計	9,439,421	40,500	9,257,681	141,240	0
(その他経費)					
【売上原価】					
期首商品・製品棚卸高計	0	0	0	0	0
仕入高	21,314	0	21,314	0	0
期末棚卸高	7,546	0	7,546	0	0
売上原価計	13,768	0	13,768	0	0
業務委託費(事業)	301,196	0	251,196	50,000	0
諸謝金(事業)	40,000	0	0	40,000	0
会場費(事業)	12,000	0	0	12,000	0
印刷製本費(事業)	154,301	0	150,616	3,685	0
広告宣伝費(事業)	86,400	0	0	86,400	0
会議費(事業)	8,828	0	8,828	0	0
旅費交通費(事業)	6,800	0	6,800	0	0
通信運搬費(事業)	193,026	0	167,296	25,730	0
消耗品費(事業)	566,686	0	566,686	0	0
什器備品費(事業)	153,572	0	153,572	0	0
修繕費(事業)	1,080	0	1,080	0	0
水道光熱費(事業)	707,730	0	707,730	0	0
賃借料(事業)	233,904	0	225,504	8,400	0
保険料(事業)	5,000	0	5,000	0	0
租税公課(事業)	3,000	0	3,000	0	0
支払手数料(事業)	12,312	0	11,772	540	0
雑費(事業)	11,338	0	0	11,338	0
その他経費計	2,510,941	0	2,272,848	238,093	0
事業費計	11,950,362	40,500	11,530,529	379,333	0
【管理費】					
(人件費)					
人件費計	0	0	0	0	0
(その他経費)					
通信運搬費	984	0	0	0	984
租税公課	200	0	0	0	200
その他経費計	1,184	0	0	0	1,184
管理費計	1,184	0	0	0	1,184
経常費用計	11,951,546	40,500	11,530,529	379,333	1,184
当期経常増減額	392,633	4,500	99,304	54,020	234,809
《正味財産増減の部》					
税引前当期正味財産増減額	392,633				
法人税・住民税等	97,300				
当期正味財産増減額	295,333				
前期繰越正味財産額	67,505				
次期繰越正味財産額	362,838				